

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果から

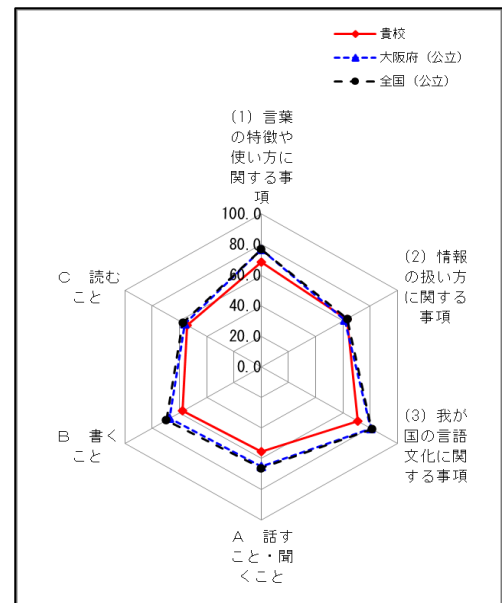
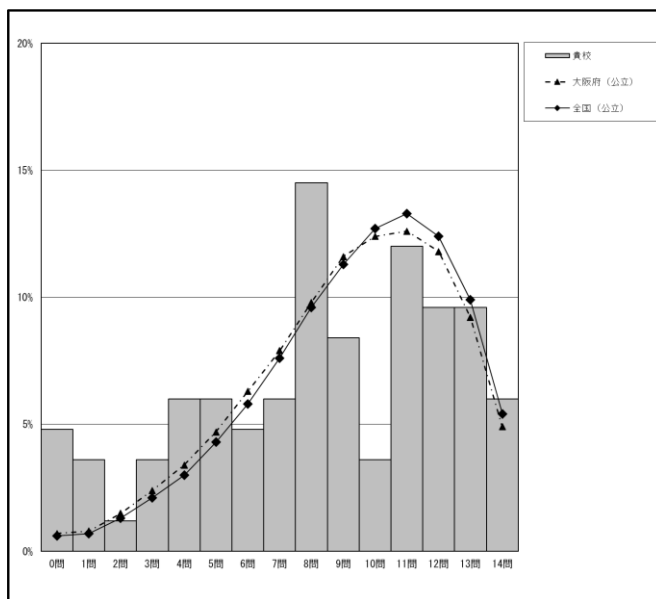
1. 各教科の結果から

(1) 国語

【概要】

本校の平均正答率は、全国平均や大阪府平均を下回った。

「読むこと」に関する問題は全国平均や大阪府平均と大きく変わらないが、「話すこと・聞くこと」「書くこと」については、全国平均や大阪府平均より下回り低くなっている。



【成果】

- ・ 文章全体の構成を捉え、要旨を把握することについては、正答率が大阪府や全国の平均よりも上回っている。
- ・ 文章と図表を結びつけ、必要な情報を読み取ることについては、正答率が大阪府や全国の平均よりも上回っている。

【成果の要因】

- ・ 週1回のマシコレタイム(短作文ワーク)で、様々な文章の要旨をまとめることに取り組んだことが、要旨を把握する力に繋がったと考える。
- ・ 週1回のマシコレタイム(短作文ワーク)で、新聞やグラフ等の読み取りに取り組んだことが、様々な教科で資料を読み取る力に繋がったと考える。

【課題】

- ・ 目的や意図に応じた会話を考えたり、書き表したりすることができていない。
- ・ 漢字が定着していない。
- ・ 特に記述式の問題の無回答率が高い。

【課題の要因】

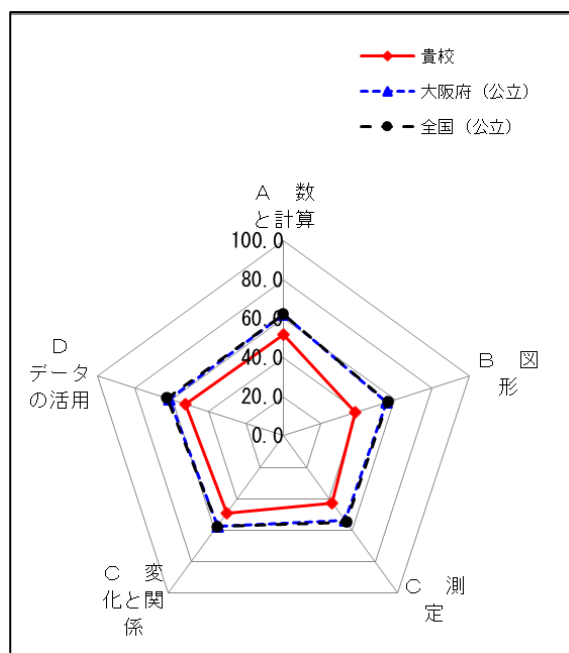
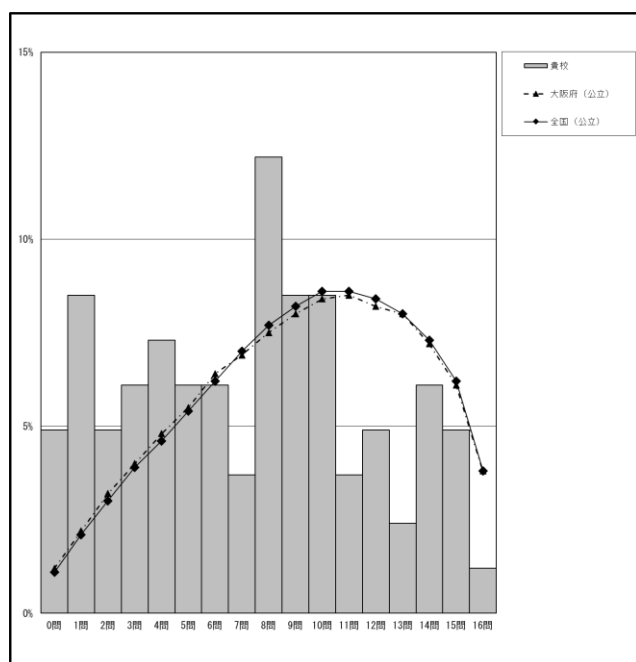
- ・ インタビューから目的や意図に応じて情報を集めたり、事前に質問を考えたりする機会が不足している。
- ・ 普段の授業で、既習漢字を使う意識や態度を育てていない。
- ・ 普段の授業で、最後まで粘り強く学習を進める態度を育てていない。

(2) 算数

【概要】

本校の平均正答率は、全国平均や大阪府平均を下回った。

特に「数と計算」「図形」「測定」に関する問題の正答率は、10 ポイント以上全国平均や大阪府平均より低くなっている。



【成果】

- ・ 分数の計算は、概ね理解できている。
- ・ グラフの特徴を捉えて読み取ったり、適切なグラフを選択したりすることができている。

【成果の要因】

- ・ 計算練習を定期的に宿題に出し、定着を図ってきたことが計算力に繋がったと考える。
- ・ 週1回のマシコレタイム(短作文ワーク)で、新聞やグラフ等の読み取りに取り組んだことが、算数でも資料を読み取る力に繋がったと考える。

【課題】

- ・ もとにする量と比べる量の数量関係を、イメージすることができていない。
- ・ 図形の構成の仕方や、図形の性質について理解できていない。
- ・ 無回答率が高い。

【課題の要因】

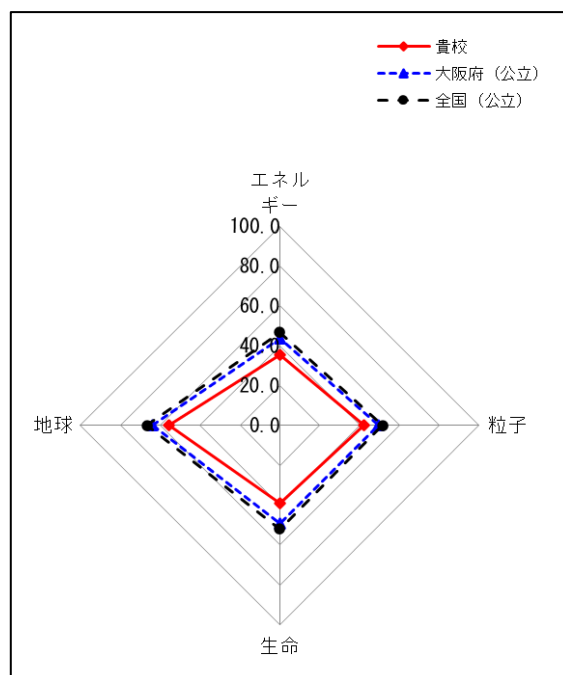
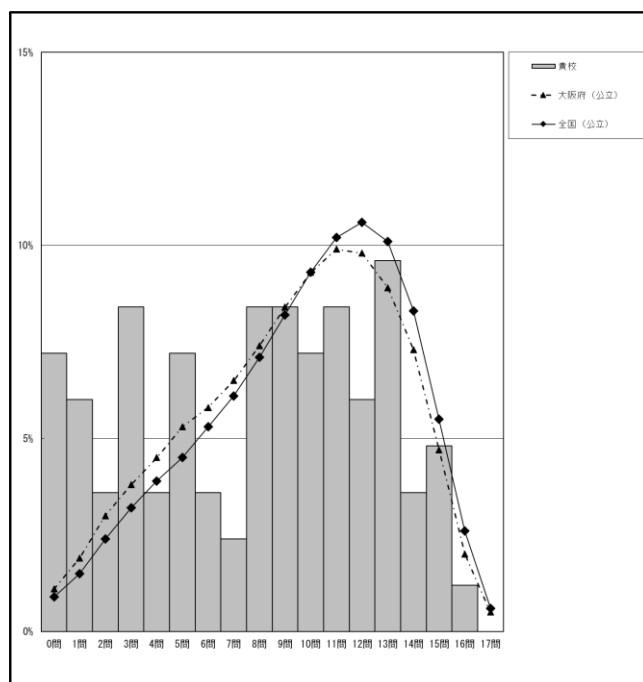
- ・ 問題文をイメージして、図や数直線に表す活動が不足している。
- ・ 図形を空間認識できるように、ICTを活用したり具体物を使ったりする方法が不足している。
- ・ 普段の授業で、最後まで粘り強く学習を進める態度を育てていない。

(3) 理科

【概要】

本校の平均正答率は、全国平均や大阪府平均を下回った。

特に「生命」に関する問題の正答率は、全国平均や大阪府平均よりも 10 ポイント以上低くなっている。



【成果】

- ・ 実験結果から規則性を見つけ、他の条件での結果を予想することができている。
- ・ 電磁石の強さの要因については、概ね理解できている。

【成果の要因】

- ・ 実験後の結果から何がわかるのか、自分で考察する時間をしっかり設定してきたことが、結果に繋がったと考える。
- ・ 実際に電磁石のキットを使用して、自分で学習計画を立てて、主体的に実験・考察を進めてきたことが、理解に繋がったと考えられる。

【課題】

- ・ 実験器具や基本的な理科学用語が定着していない。
- ・ 学習したことを応用したり、生活のなかで活かしたりすることができていない。

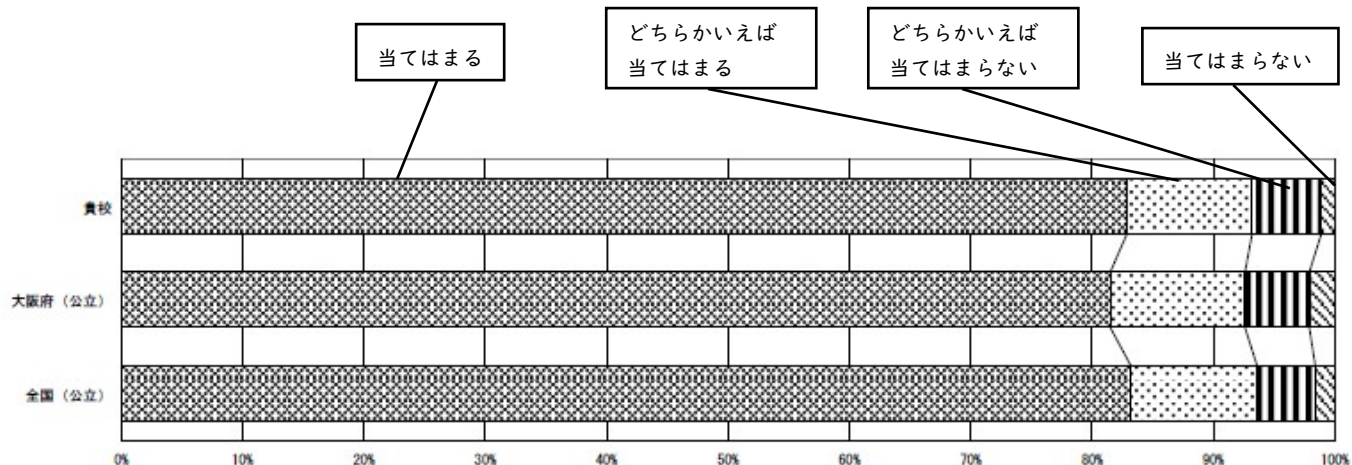
【課題の要因】

- ・ 考察の際、必要な用語を使って考えを書く指導が不足している。
- ・ 実験や観察の後、学習したことが、自分の生活にどう繋がるかを考える機会が、十分ではなかった。

2. 児童質問紙の結果から

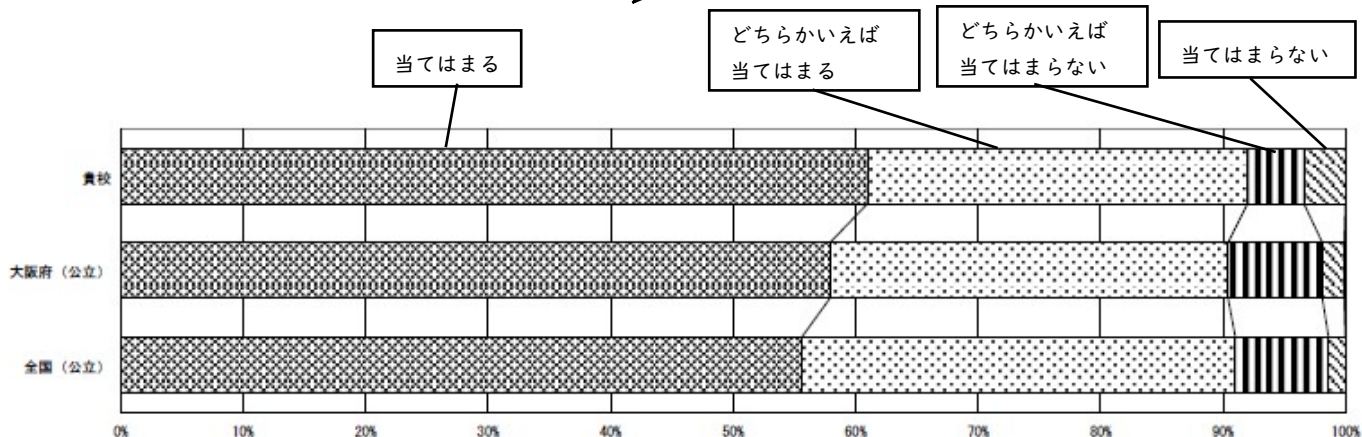
◇ 朝食を毎日食べていますか。

★ご家庭の協力で、毎日朝ごはんを食べている児童が多いです。



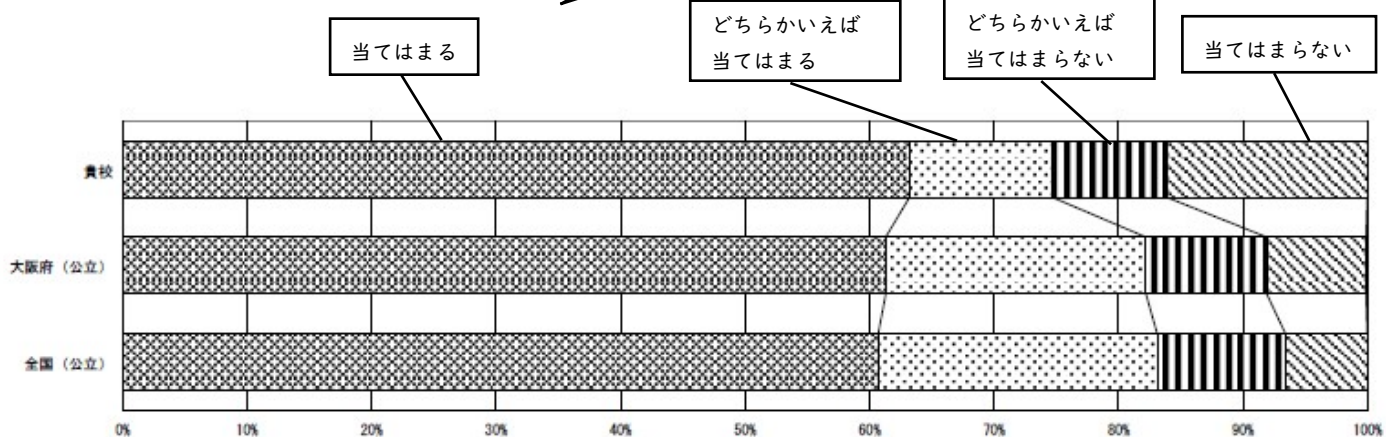
◇ 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。

★多くの児童が、毎日おなじくらいの時刻に起きることができています。



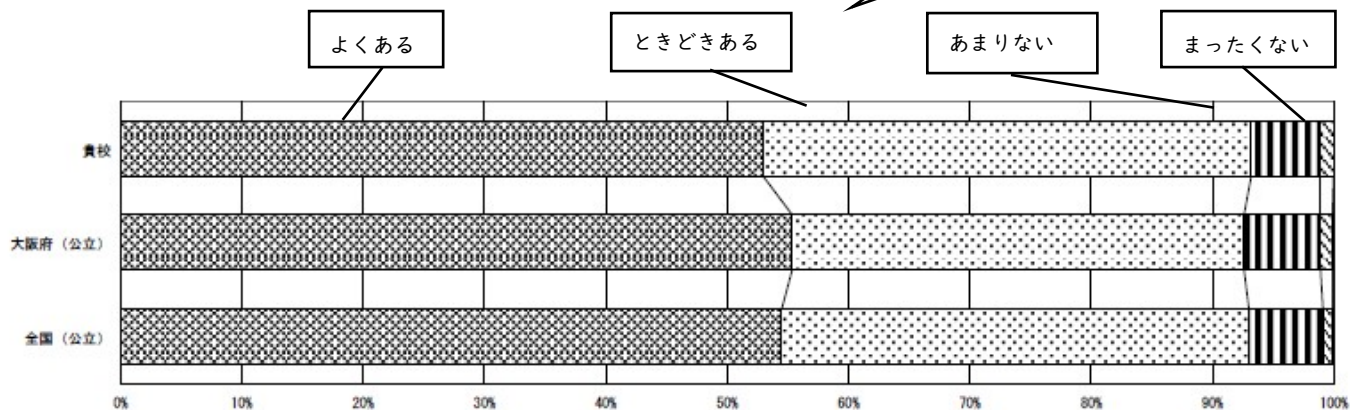
◇ 将来の夢や目標を持っていますか。

★強肯定の児童が多く、夢や目標に向かって頑張っていることがわかります。



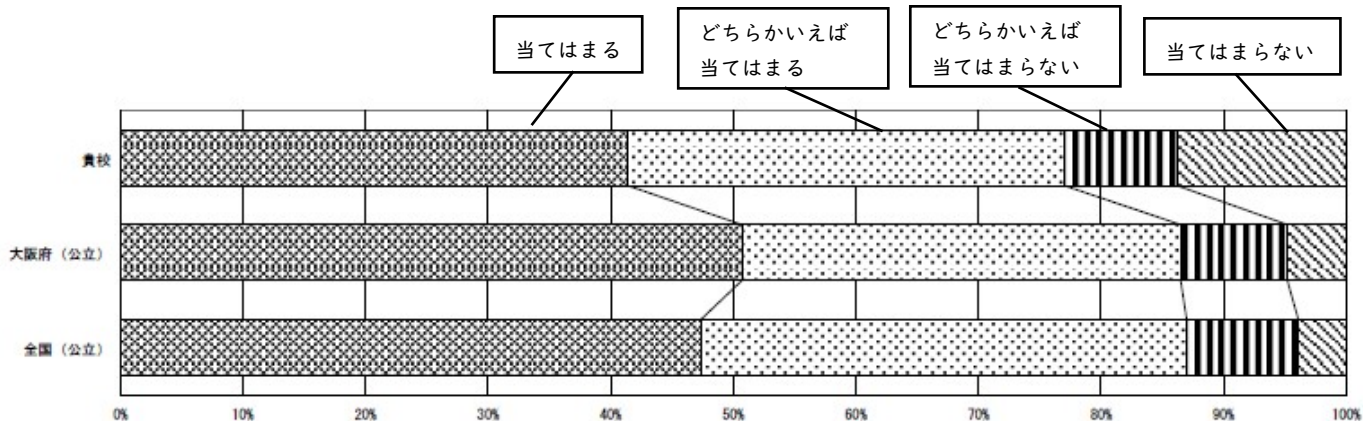
◇ 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。

★普段の生活のなかで幸福感が高い児童が全国や大阪府より多いです。



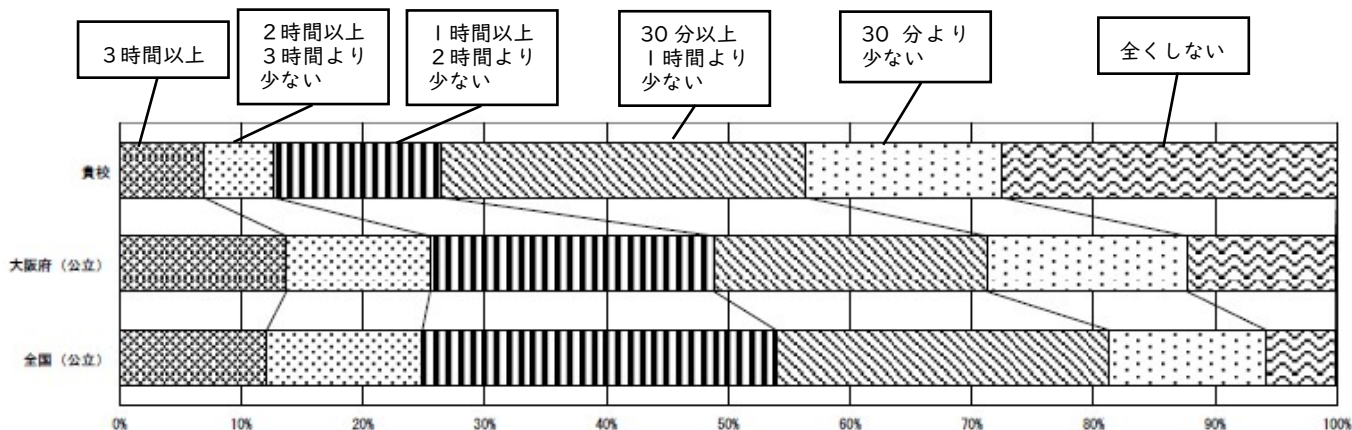
◇ 自分には、よいところがあると思いますか。

▲自分に自信がない、否定的な回答の児童が多いです。



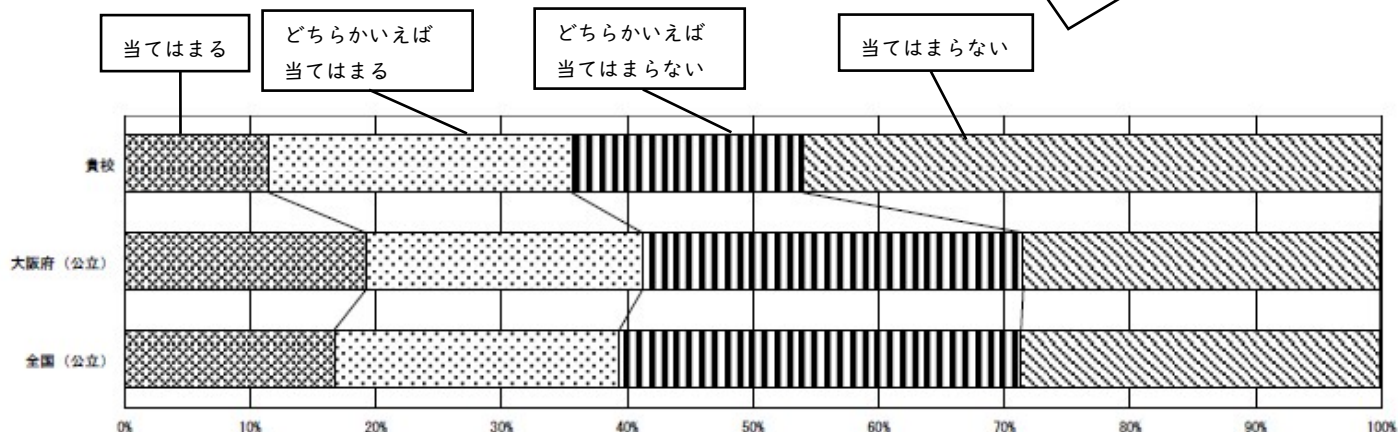
◇ 学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や、家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む。）

▲平日の学校以外での学習時間が、全国や大阪府に比べて少ないです。



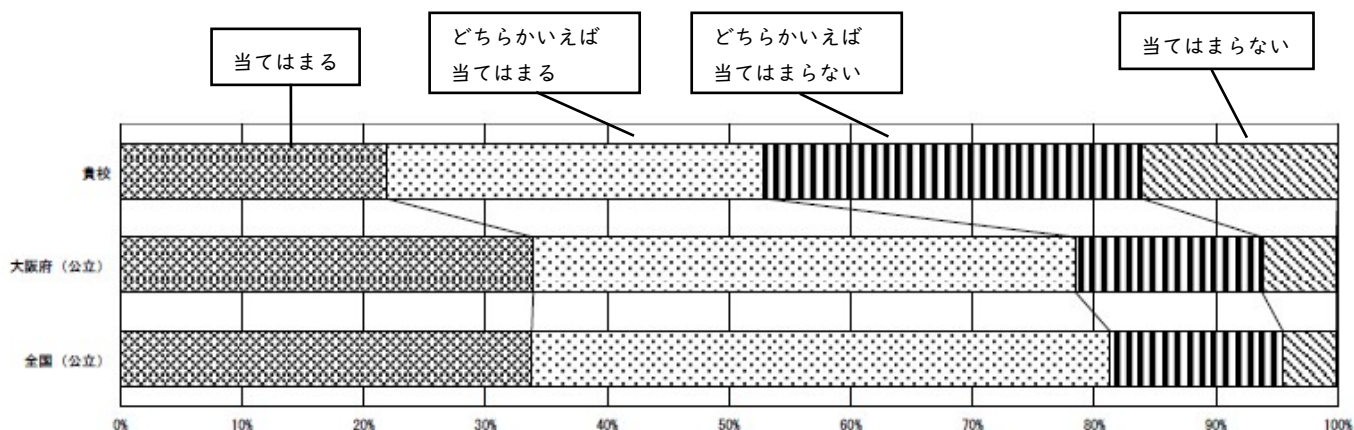
◇ 地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか。
(習い事は除く。)

▲普段から地域の方との関わりがあると思っている児童が少ないです。



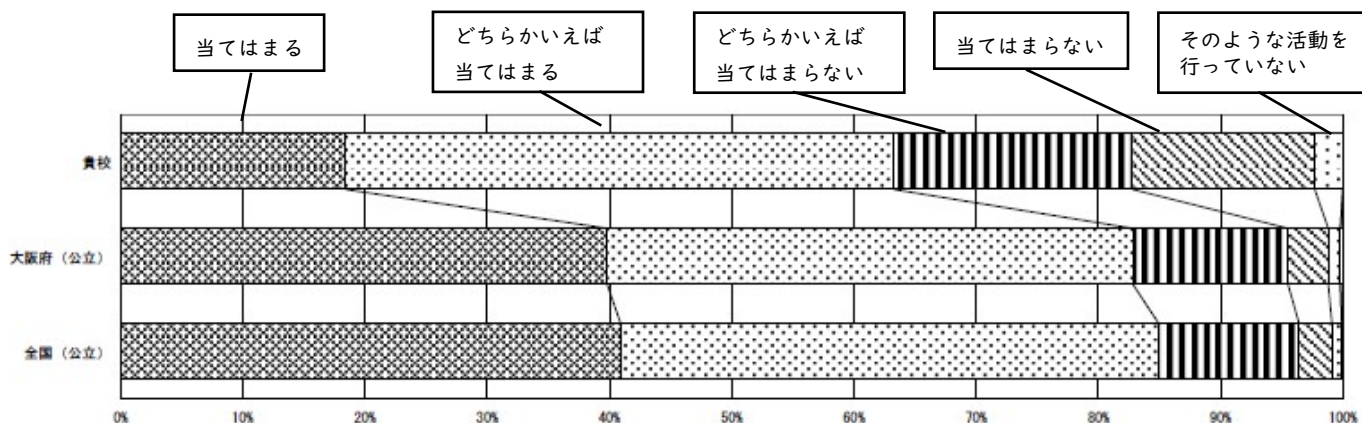
◇ 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。

▲地域や社会との関わりが少ないと感じている児童が多いため、この設問でも否定的な回答の児童が少多いです。



◇ 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか。

▲話し合う活動から、自分自身の考えを広げている児童が少ないです。



【成果】

- ・ 将来の夢や目標をもっており、普段の生活のなかでの幸福感が高い。
将来の夢や目標を持っていますか。強い肯定的回答率 63.2% (大阪 61.3% 全国 60.7%)
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。
肯定的回答率 93.1% (大阪 92.5% 全国 93.0%)
- ・ 基本的な生活習慣が身についている。
朝食を毎日食べていますか。肯定的回答率 93.1% (大阪 92.6% 全国 93.7%)
毎日、同じぐらいの時刻に起きていますか。肯定的回答率 91.9% (大阪 82.8% 全国 81.9%)

【成果の要因】

- ・ キャリア教育の視点を普段の授業のなかでも取り入れてきたことで、将来のことや自分自身のことに向き合う児童が多くなったと考える。
- ・ ご家庭のご協力によって、「早寝早起き朝ごはん」の習慣がきちんと身についている。

【課題】

- ・ 自己肯定感が低い。
自分には、よいところがあると思いますか。肯定的回答率 77.0% (大阪 86.5% 全国 86.9%)
- ・ 家で学習する時間が短い。
学校以外での学習時間が 1 時間以上 平日 26.4% (大阪 48.8% 全国 54.0%)
学校以外での学習時間が 1 時間以上 土日 11.4% (大阪 20.7% 全国 21.5%)
- ・ 周りの人や地域とのつながりが希薄である。
地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか。 肯定的回答率 35.6% (大阪 41.2% 全国 39.4%)
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。
肯定的回答率 52.8% (大阪 78.4% 全国 81.3%)

【課題の要因】

- ・ 成功体験から自分に自信をもったり、クラスや学年の取組みから、自分が必要とされていると感じたりする機会が不足している。
- ・ 総合的な学習の時間など、周りの人や地域とつながる取組みは実施してきたが、自分が地域のために何ができるのかを考えるとところまで深められていない。

3. 改善策

(1) 授業改善

- ・ 授業のなかで、自分で調べたことや自分の考えを文章に書く取組みを増やすことで、最後まであきらめずに課題に取り組む意識をもてるようにする。
- ・ 授業のなかで「自己選択・自己決定」できる場を増やすことで、主体的に学習に取り組む、自分に合った学習方法を見つける力をつける。
- ・ 授業における目標(つけたい力)を明確にし、授業計画を実行する。
- ・ 生活科や総合的な学習の時間において、周りの人や地域の方々とはつながる機会を増やし、自分がクラスや地域の一員であるという意識をもてるようにする。
- ・ どの教科においても、学習用語を適切に使用し、自分の言葉でまとめていくことができるようにする。

(2) 学力向上への習慣化

- ・ 見通しを自分で立て、自分の言葉でまとめ、表現して書かせる。
- ・ 自分で課題を見つけて取り組めるようなチャレスタ(自主学習)の推進を行う。(一中校区内で連携)

(3) その他

- ・ 各学年で地域のことを考えたり、地域とつながったりできるような取組みを実施する。
- ・ 地域行事の情報発信を行い、参加を呼びかける。

4. スケジュール(改善策の具体的な実施)

- 通年 ○ チャレスタ(自主学習)の推進
 (チャレンジウィーク年3回、チャレスタコンテスト年2回 一中校区で取り組む。)
- マシコレ(条件付き短作文ワーク)の定期的な実施
- 本ごちタイム(定期的な読書タイム)の実施
- 8月 ○ 全国学力・学習状況調査及びすくすくウォッチについて、問題及び結果分析
 → 各学年の授業での意識向上・取組みへ
- 9月 ○ 教職員間による相互参観(校内)
- 12月 ○ 摂津市学力定着度調査実施
 →分析
 →取組みへ
- 1月 ○ 教職員間による相互参観(中学校区)
- 公開授業研究会
 「つながりました 広がりました 深まりました
 ～自己選択・自己決定の場を通して 共感できる場面を増やす～」
 →ふりかえり・反省
- 3月 ○次年度への引継ぎ